

Question

通常使用しているFSEの撮像条件からFatSep^{*1} FSEへ変更したいのですが、パラメータの調整方法を教えてください。

Answer

FSEからFatSepFSE (Multi-3pt) の条件変更は以下のように調整します。

調整手順

- ①シーケンスをFSEからFatSepFSEに変更します。
- ②Multi-3ptが可能な装置はSingle-2pt→Multi-3ptに変更します。

Single-2ptでは1TR間にIn Phase、次の1TR間にOut of Phaseを取得しますのでFSEをFatSepFSEに変更すると撮像時間が倍になります。一方、Multi-3ptでは1TR間にIn PhaseとOut of Phase(2画像)を取得するため、撮像時間の大幅な延長はなく、効率よく撮像できます。

- ③Echo Alloc. をT2強調画像ではSequential、T1強調、プロトン密度強調画像ではCentricを選択します。

- ④所望のTEになるようにE. Factorを調整します。
- ⑤TRを調整します。例)通常最短にしますが、T2強調画像で3000ms以下になるような場合はContrast Pulse：DE Pulseを追加します。
- ⑥必要に応じてAnti aliasingなどでS/Nを調整します。

FatSepFSE (Multi-3pt) は、通常のT1またはT2強調画像と共に均一な脂肪抑制画像(水画像)も同時取得できる日立の特徴的な撮像シーケンスです。ぜひご活用ください。

* FatSepFSE (Multi-3pt) は、FOVやFreq.#などのパラメータに制限があるため、所望の条件が入力できない場合はFatSepFSE (Single-2pt) を使用してください。

L-Spine FatSepFSE (Multi-3pt / ECHELON^{*2} Smart^{*3} 1.5T) の例



一度の撮像でT2強調画像と脂肪抑制T2強調画像が得られ、椎体や皮下の炎症所見を確認することができます。

※1 FatSep、※2 ECHELON、※3 ECHELON Smart、※4 ROBUSTO、※5 ECLOS、※6 SCENARIA、※7 Supria、※8 CUREVISTA、※9 EXAVISTA、※10 VersiFlex およびVersiFlex VISTAは、株式会社日立製作所の登録商標です。

**製品
Q&A**

CT：体動補正について

対象機種：Carino、Pronto、ROBUSTO^{※4}、ECLOS^{※5}、SCENARIA^{※6}、Supria^{※7}

Question

頭部撮影時に患者さんが少し動いてしまい、動きによるアーチファクトが発生してしまいました。それを補正するソフトはありますか？

Answer

若干の動きによるアーチファクトであれば、「ポストリコン (拡大再演算)」で体動補正 (B.G.C.) を適用することで補正が可能です。

調整手順

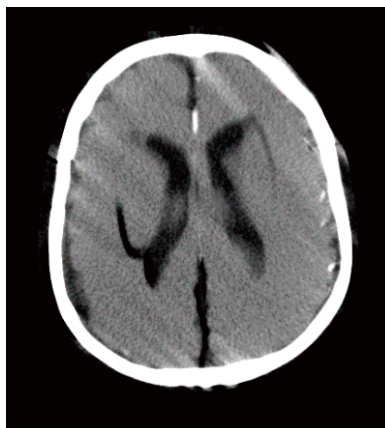
- ①ポストリコン (拡大再演算) を起動します。
- ②「B.G.C.」をONにします。
- ③再演算を実行します。

なお、体動補正 (B.G.C.) は、ノーマルスキャンにて撮影を行ったシリーズにのみ適用できます。(B.G.C.はBowel Gas Correctionの略です)

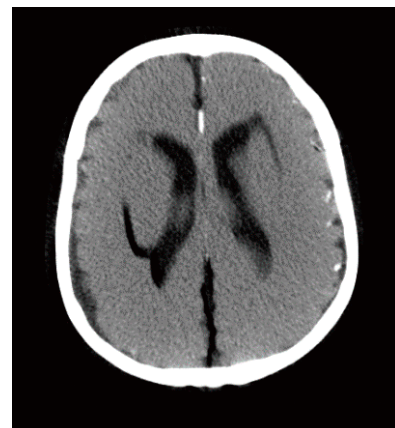
ご使用の際は、必ず体動補正ON、OFFの両画像をご確認いただき、体動補正のご使用をご判断ください。

※対象機種以外の旧機種でも体動補正は可能です。その場合は、SEL MODE#17の「BOWEL GAS CORRECTION SET」にてHEADモードをONにした後、ポストリコンを実行してください。

体動補正適用例



撮影時 (B.G.C. OFF)



再演算後 (B.G.C. ON)

**製品
Q&A**

XR：多目的検査用X線透視台 部位の選択について

対象機種：CUREVISTA^{※8}、EXAVISTA^{※9}、VersiFlex VISTA^{※10}

Question

胃部の術後や小腸・大腸などガストログラフィンを使用して造影検査するとき、どの部位を選べばよいですか。

Answer

ABDOMENの部位をご使用ください。コントラストのある画像を得ることができます。

調整手順

多目的検査用X線透視台は標準機種構成で22個の部位が設定されています。

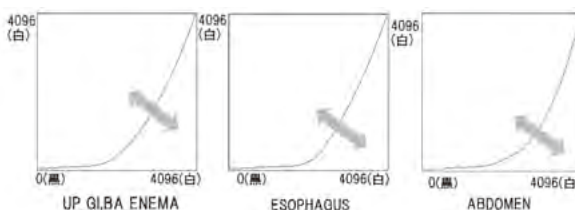
選ぶときに悩まれるUP_GI,BA_ENEMA, ESOPHAGUSとABDOMENの4部位の設定内容を簡単にご説明します。

さまざまな条件やパラメータによって画像が作られていますが、具体的な例として撮影画像に適用されるAuto γ の形状 (例) を図に示します。

設定内容

部位名	検査対象	特徴
UP_GI、BA_ENEMA	バリウム使用の検査	体位変換を考慮した設定
ESOPHAGUS	食道検査 嚥下造影検査	透視像：黒沈みを抑制 撮影像：コントラスト明確化
ABDOMEN	ガストログラフィン造影検査 ウログラフィン造影検査	透視・撮影共に強いコントラスト設定

Auto γ の形状



実際は、Auto γ 処理により、画像ごとに γ の傾き () と WW/WL が変わります。